

令和8年度 第1回 開かれた学校づくり協議会 議事録



1. 日時・場所

- 日時: 2026年4月30日(木)
- 場所: 武蔵野市立第四中学校 体育館会議室

議事および報告内容



■ 開会あいさつ・学校近況(校長)

新年度開始から約1か月。1年生は転入で146名となり5クラスに増設。

- 特別支援学級は計25名。全校生徒は462名。
- 副校長に島田先生が着任し、新任教員8名を迎えて教職員の若返りと組織の活性化が進行。
- 来月は体育祭、その翌週には3年生の京都修学旅行を予定し、行事が続く中でも充実した教育活動を進めていく。



■ 委員自己紹介・役員選出

- 各委員が地域コーディネーターとしての活動歴やPTA経験を交えて自己紹介。
- 互選により、**会長は田中委員、副会長は赤羽委員**に決定し承認。

新任委員紹介

木村 智絵 委員

青少協千川地区委員長

「地域のおばちゃんとして参加しているつもりなのでどうぞよろしくお願いします」



- 継続委員が多く、地域連携を重視する姿勢を共有。
- 「地域で学校を支えたい」という思いが多くの委員から示された。

意見交換(交通安全・自転車・地域連携など)

■ 交通安全・自転車マナー

新入生を含め、自転車の並走・信号無視などマナー低下が懸念。

- 生徒の安全確保のため指導が重要で、特に2学期の気の緩みに注意が必要。



■ 地域安全マップ・自転車講習

- 地域の視点で危険箇所を洗い出し、安全マップを作成・配布する提案が出た。
- 部活動などの枠組みで、地域住民が講師となる自転車講習会の実施の提案が出た。



■ 地域活動・学校行事への参画

PTA コーラスなど地域行事への教職員参加について、負担時期を踏まえつつ早めに協議し調整する方針で一致。

- 情報共有だけでなく、明確なテーマを設定した熟議で建設的な意見交換を目指す。



■ 広報デジタル化

印刷物を減らし、学校 HP 内の「開かれた学校づくり協議会」ページで情報発信していく方針。

■ 防犯教育・地域連携

中学生にも「闇バイト」被害・加害リスクが広がっており強い危機感が共有された。

- ホワイトイーグルによる防犯ソングや講演を依頼し、夏休み前に防犯講演会を協議会主催で実施する方向を検討。



「地域の色っていうのが確かにある」



■ 島田副校長による他自治体(町田市)の事例紹介

- 東京都の地域協働本部の流れに沿い、全国で地域連携が強化されている。
- 町田市では、地域住民が学習支援や図書館、部活動を支えるボランティア体制(ゼネラルコーディネーター制)が機能。
- 学校評価やアンケート結果を協議会に共有し、地域と学校で熟議して次年度運営に生かす仕組みづくりが重要。



■ PTA 加入率低下と父親懇談会

PTA 任意化やオンライン化で保護者同士のつながりが弱まり、学校の様子が見えにくいとの声がある。

- 非加入世帯との溝を埋め、学校と保護者をつなぐ役割が PTA や協議会に求められている。
- 父親と教職員が対面で語り合う「父親懇談会(父コン)」のような場の価値が再評価されている。



■ 価値観カードゲームの紹介

地域住民と子どもと一緒に参加し、カードを使って自分の大切にしている価値観を見つめる活動が紹介された。

今後のテーマ設定について

- 協議会で扱うテーマを事前に設定した方が議論しやすい
- 例:
 - 交通安全
 - 防犯教育
 - 地域連携
 - 行事運営

